

別係数の温度依存性を考慮に入れたモデリングは、海洋地殻・熱水のホウ素含有率・同位体比に関する20年来の解釈に変革をもたらしています。

山岡さんは、このように国際的に高い水準の研究を継続的に行ってきており、固体・流体相互作用をはじめとする地球化学研究の担い手として将来が期待されます。最近ではマンガンクラストをはじめとして「芸域」をさらに拡げて来ており、今後の活躍が楽しみです。今回の受賞、本当におめでとうございます。

(海洋研究開発機構高知コア研究所 石川剛志)

奨励賞：山崎敦子会員

次号にて掲載予定です。

奨励賞：吉村寿紘会員（海洋研究開発機構生物地球化学研究分野）

受賞題目：「炭酸塩の地球化学と古環境に関する研究」



吉村寿紘（よしむらとしひろ）会員は、2007年に東北大学理学部地圏環境科学科を卒業され、その後、東京大学大学院新領域創成科学研究科の修士課程・博士課程に進まれました。大学院では、川幡穂高教授のご指導のもとで研究

を進められ、2012年に博士号を取得されました。日本学術振興会特別研究員、海洋研究開発機構海洋・極限環境生物圏領域、東京大学大気海洋研究所海洋底科学部門を経て、2017年より、現職に着任されました。

吉村さんの研究のユニークな点は、金属と地球環境との関連性に主眼を置き、主に炭酸塩に含まれる微量元素の存在状態と同位体比を用いた解析法の開発要素を皮切りに、地球表層の元素動態、化学反応過程、環境変動に関する応用研究を包括しているところです。とりわけ、地球表層を巡るマグネシウム、カルシウム、ストロンチウムなどの主要な陽イオンの動態から海水の化学進化や堆積環境を読み解くもので、安定同位体比と軟X線分光をツールとして第四紀の炭酸塩古海洋学や地中海の蒸発岩、大陸の化学風化に伴う海洋への同位体フラックスの研究などに取り組んでいます。これらの新しい安定同位体比は大陸や海底熱水からの寄与に加えて海洋の炭酸塩の沈殿量を反映する新指標として注目されており、昨年の地球化学会年でも第四紀の海洋における炭酸塩収支の変化について報告しています。

太平洋と瀬戸内海を臨む、自然豊かな環境で育たれた吉村さん。学部時代は、野外調査に取り組むなど地質系出身の吉村さんですが、修士から同位体地球化学の門を叩き、さらに博士課程在籍中にはSPring-8の軟X線分光分析に出会い、*in situ* スペシエーション分析の重要性と有用性に魅了されました。古環境の記録媒体である生物起源の炭酸塩は有機基質の混合物であるため微量元素の存在状態が多様です。現在も横須賀（JAMSTEC）と播磨（Spring-8）を行き来し、コツコツとデータを積み重ねており、EPSL, GCA, G-cubedなどの主要専門誌に成果が掲載されています。

“実験室とフィールドのあいだ”にある興味深いサイエンスを見出し、大学院時代から一貫して無機地球化学に属していた吉村さん。ポスドク時代に衝撃の出会いが、一つありました。初めて有機地球化学に触れ、液体クロマトグラフィーやガスクロマトグラフィーによって、アミノ酸や酵素などを分離し、有機分子レベルの軽元素同位体比をシステムティックに測定する姿に衝撃を受けたそうです。3年がかりで自前の装置を手に入れた彼は無機元素の同位体前処理システムを作りあげ、その成果は、*Journal of Chromatography A*誌に掲載されました。

日々進化する吉村さんは、“無機化学と有機化学のあいだ”にある未踏の原野をこれから次々に開拓されることでしょうか。今後は、これらの経験を発展させ、室内外での研究と教育の場、学術コミュニティでの一層の活躍が期待されます。

(海洋研究開発機構生物地球化学研究分野
高野淑識)

研究集会のお知らせ

●日本地球惑星科学連合2018年大会のご案内

会期：2018年5月20日（日）～5月24日（木）

会場：幕張メッセ 国際会議場、国際展示場 Hall 7
（千葉県千葉市美浜区中瀬2-1）

東京ベイ幕張ホール（千葉県美浜区ひび野2-3）

詳細は以下のウェブサイトをご参照下さい。

http://www.jpгу.org/meeting_2018/

開催セッションとプログラムの詳細は大会トップページの「セッションとプログラム」

http://www.jpгу.org/meeting_2018/program.php
をご覧下さい。



日本地球化学会ニュース

No. 232 March 2018

Contents

年会のお知らせ	2
2018年度日本地球化学会第65回年会のお知らせ(1)	
学会からのお知らせ	2
新会長あいさつ	
2017年度「学会賞・奨励賞」受賞者紹介	
研究集会のお知らせ	7
日本地球惑星科学連合2018年大会のご案内	
書評	8
「海の温暖化」	
「隕石」	